

# 2022年3月期 第3四半期 決算補足資料

2022年2月7日

京阪ホールディングス株式会社

( 東証1部 9045 <https://www.keihan-holdings.co.jp/> )

◆見通しに関する注意事項◆

業績予想及び将来の予測等に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2022年3月期 第3四半期

# 決算の概要

# 連結損益計算書

- 不動産販売業の増収はあるものの、収益認識会計基準適用の影響により減収。利益面では、運輸業等における前年同期の新型コロナウイルスの影響の反動があり増益。

(単位：百万円)

	2022/3 3Q実績	2021/3 3Q実績	増減	増減要因
営業収益	179,032	182,908	△3,875 (△2.1%)	※収益認識会計基準適用による影響△21,120
営業利益	8,851	270	8,580 (-)	
営業外収益	3,753	3,129	624	新型コロナウイルス感染症対策補助金+737、 雇用調整助成金+109
営業外費用	2,124	2,651	△526	
経常利益	10,480	749	9,731 (-)	
特別利益	2,239	3,939	△1,699	投資有価証券売却益△2,405
特別損失	1,279	1,404	△124	新型コロナウイルス感染症による損失△765
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,896	△1,593	7,490 (-)	
受取利息及び配当金	454	599	△144	
支払利息	1,525	1,567	△42	
金融収支	△1,070	△968	△102	

(単位：百万円)

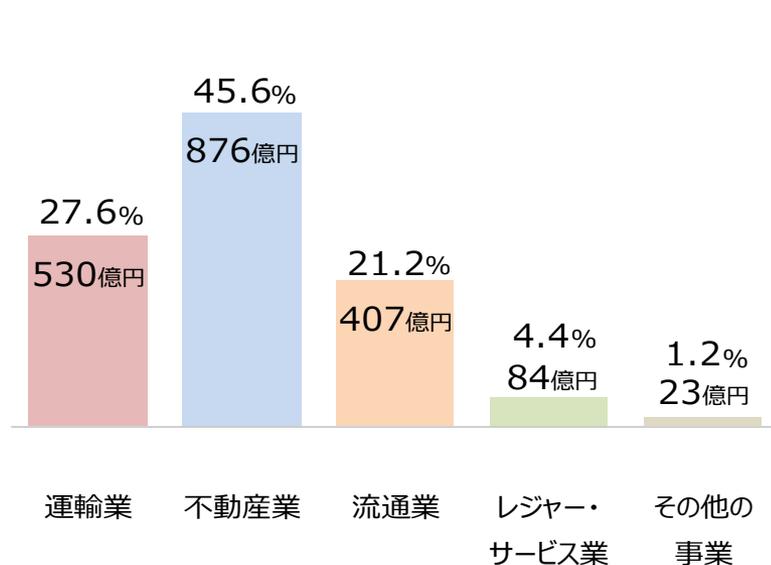
		2022/3 3Q実績	2021/3 3Q実績	増減額	増減率
運 輸 業	営 業 収 益	53,068	49,003	4,064	8.3%
	営 業 利 益	168	△7,263	7,431	—
不 動 産 業	営 業 収 益	87,612	76,013	11,599	15.3%
	営 業 利 益	14,690	15,168	△477	△3.1%
流 通 業	営 業 収 益	40,758	61,881	△21,122	△34.1%
	営 業 利 益	1,398	771	626	81.2%
レジャー・サービス業	営 業 収 益	8,494	7,483	1,011	13.5%
	営 業 利 益	△6,753	△7,786	1,033	—
そ の 他 の 事 業	営 業 収 益	2,320	2,292	28	1.2%
	営 業 利 益	△1,016	△982	△34	—
全 社 ・ 消 去	営 業 収 益	△13,222	△13,766	544	—
	営 業 利 益	363	362	0	—

# セグメント情報（構成）

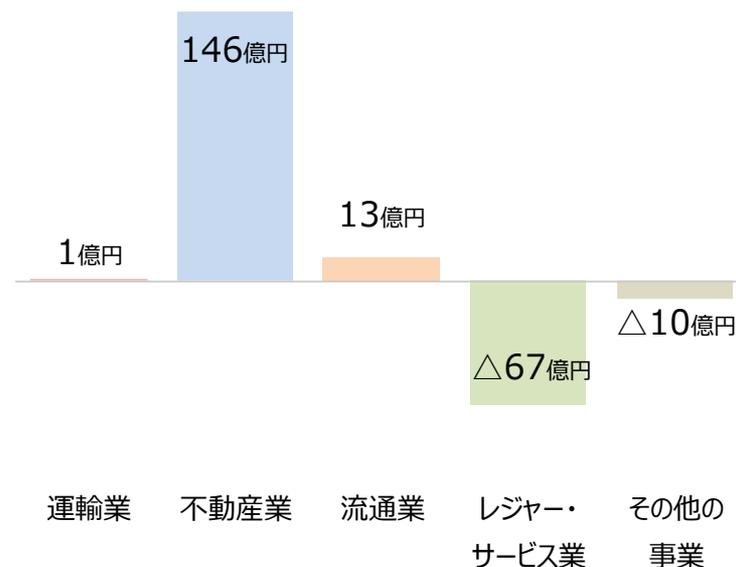
【連結対象会社】41社（対前年同期 1社減）【持分法適用会社】2社（対前年同期 増減なし）

運 輸 業	京阪電気鉄道、京福電気鉄道、京阪バス 他12社
不 動 産 業	京阪ホールディングス、京阪電鉄不動産、ゼロ・コーポレーション、京阪建物 他7社
流 通 業	京阪百貨店、京阪ザ・ストア、京阪流通システムズ、ビオ・マーケット 他1社
レジャー・サービス業	ホテル京阪、京阪ホテルズ&リゾート、琵琶湖汽船 他5社
その他の事業	ビオスタイル、京阪カード

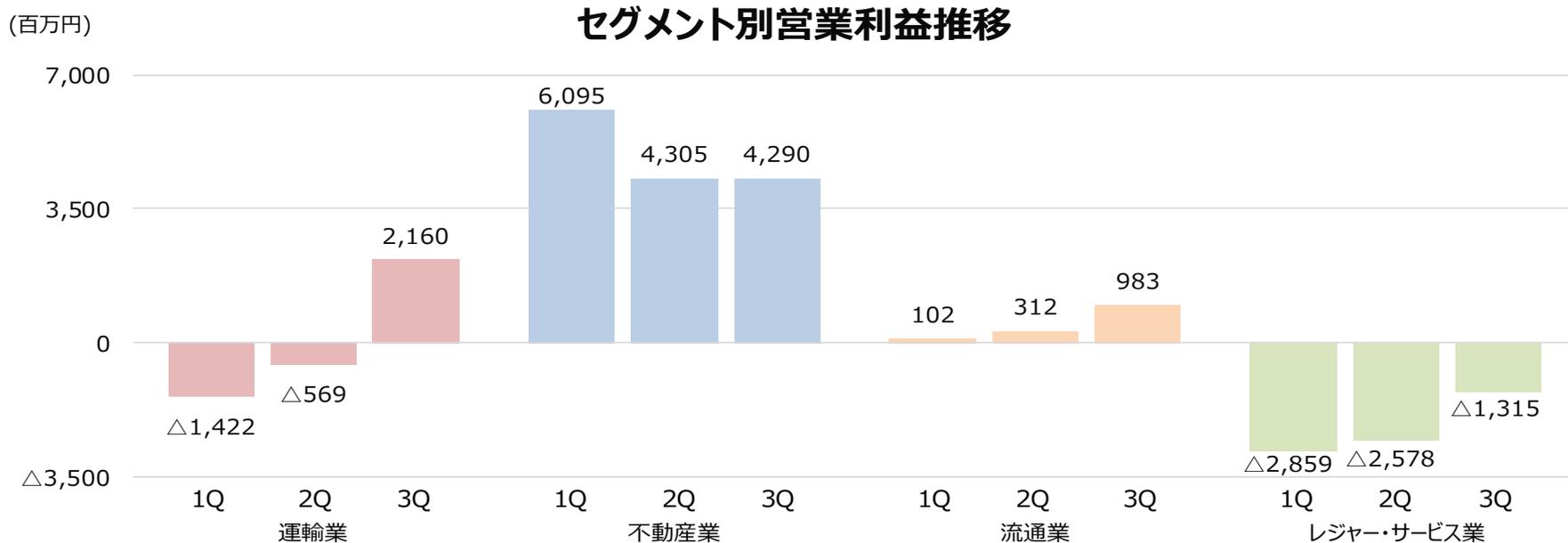
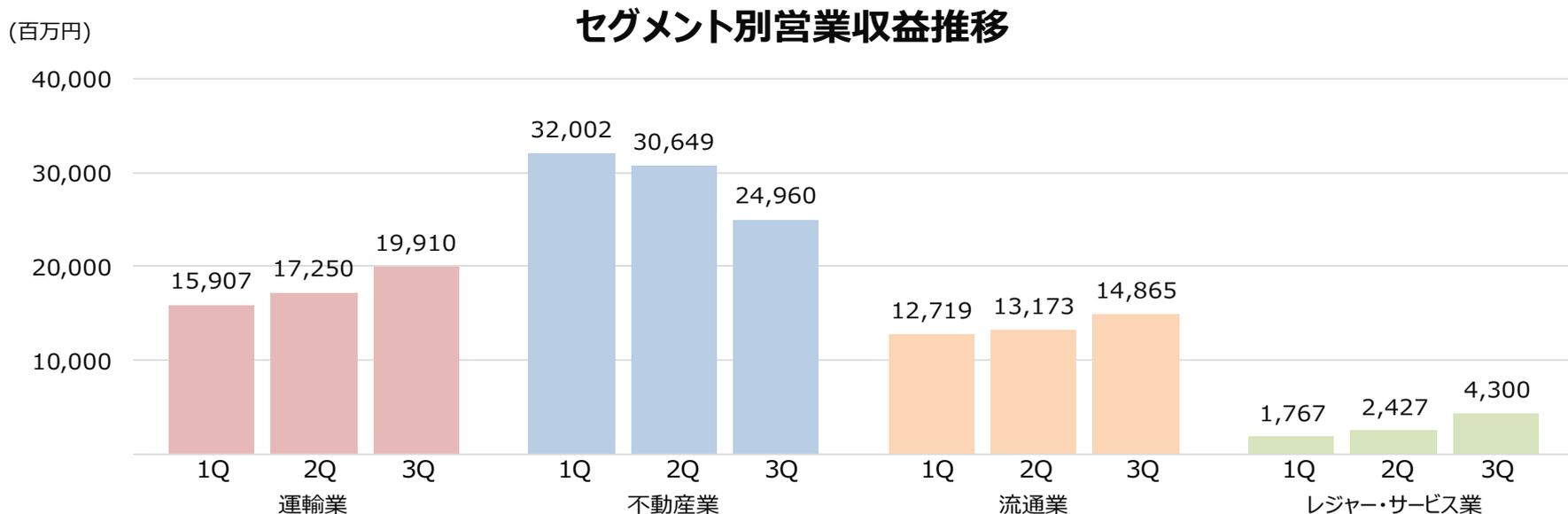
## <セグメント別営業収益>



## <セグメント別営業利益>



(注)セグメント数値は、セグメント間取引消去を含む金額であります。%は各セグメントの構成比を表しております。



# セグメント情報（運輸業）

（単位：百万円）

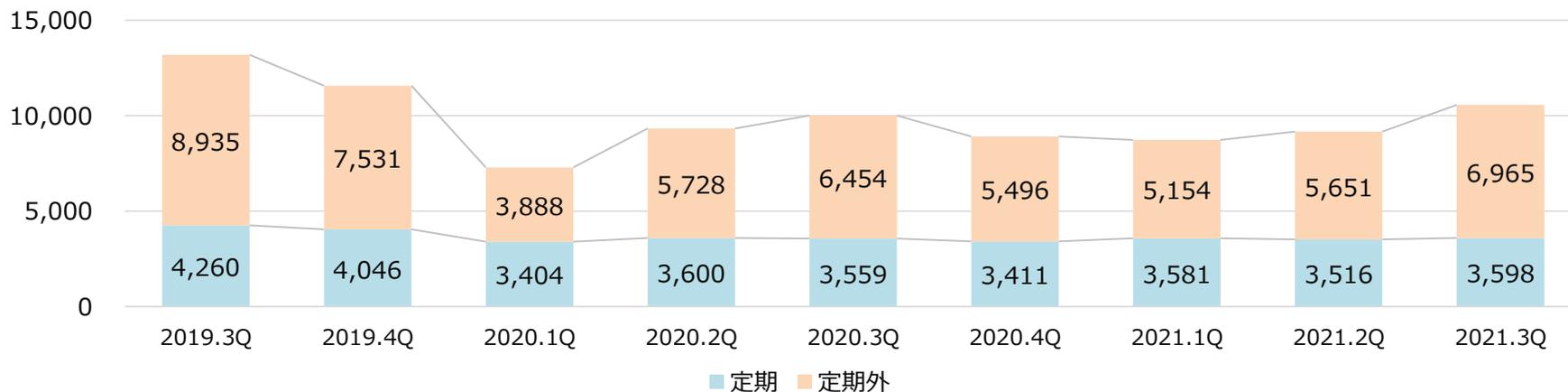
	2022/3 3Q実績	2021/3 3Q実績	増減額	増減率
営業収益	53,068	49,003	4,064	8.3%
鉄道事業	43,588	41,115	2,473	6.0%
バス事業	14,839	13,917	922	6.6%
消去	△5,360	△6,028	668	—
営業利益	168	△7,263	7,431	—
鉄道事業	527	△4,903	5,430	—
バス事業	△355	△2,372	2,016	—
消去	△3	11	△15	—

## （主な増減要因）

- 鉄道事業は、前年同期の新型コロナウイルスの影響の反動による旅客数の増加に加え、コスト削減の取り組みにより、増収・増益。
- バス事業は、前年同期の新型コロナウイルスの影響の反動による乗合収入などの増加に加え、コスト削減の取り組みにより、増収・増益。

		2022/3 3Q実績	2021/3 3Q実績	増減	増減率	
		百万円	百万円	百万円	%	
旅	客	収入	28,465	26,634	1,831	6.9
	定	期	17,770	16,070	1,700	10.6
	定	期	10,695	10,563	131	1.2
		千人	千人	千人	%	
旅	客	数	166,544	157,504	9,039	5.7
	定	期	73,178	67,884	5,293	7.8
	定	期	93,366	89,620	3,745	4.2

## 旅客収入の推移 (百万円)



## 旅客数 対2019年比



# セグメント情報（不動産業）

（単位：百万円）

		2022/3 3Q実績	2021/3 3Q実績	増減額	増減率
営	業 収 益	87,612	76,013	11,599	15.3%
	不 動 産 事 業	75,962	64,090	11,871	18.5%
	不 動 産 販 売 業	53,249	42,483	10,765	25.3%
	不 動 産 賃 貸 業	19,645	18,751	893	4.8%
	そ の 他	3,067	2,854	212	7.5%
	建 設 事 業	16,940	15,808	1,132	7.2%
	消 去	△5,289	△3,884	△1,404	—
営	業 利 益	14,690	15,168	△477	△3.1%
	不 動 産 事 業	15,790	15,045	744	4.9%
	不 動 産 販 売 業	6,269	5,960	309	5.2%
	不 動 産 賃 貸 業	9,147	8,753	393	4.5%
	そ の 他	373	332	40	12.2%
	建 設 事 業	26	△15	42	—
	消 去	△1,125	137	△1,263	—

## （主な増減要因）

- 不動産販売業は、前年同期の「南草津プリムタウン」などの土地建物や「ファインシティ新越谷」などのマンション販売の反動はあるものの、ホテルやオフィスビルなど開発案件の販売により増収・増益。
- 不動産賃貸業は、虎ノ門ヒルズビジネスタワー・京阪西三荘スクエアの寄与などにより、増収・増益。

# セグメント情報（流通業）

（単位：百万円）

		2022/3 3Q実績	2021/3 3Q実績	増減額	増減率
営	業 収 益	40,758	61,881	△21,122	△34.1%
	百貨店業	15,115	31,426	△16,310	△51.9%
	ストア業	13,262	19,347	△6,084	△31.5%
	ショッピングモールの経営	9,064	8,903	161	1.8%
	その他の	4,439	5,010	△570	△11.4%
	消 去	△1,123	△2,806	1,682	—
営	業 利 益	1,398	771	626	81.2%
	百貨店業	△158	△98	△59	—
	ストア業	614	389	224	57.6%
	ショッピングモールの経営	883	671	212	31.6%
	その他の	51	△201	253	—
	消 去	7	11	△3	—

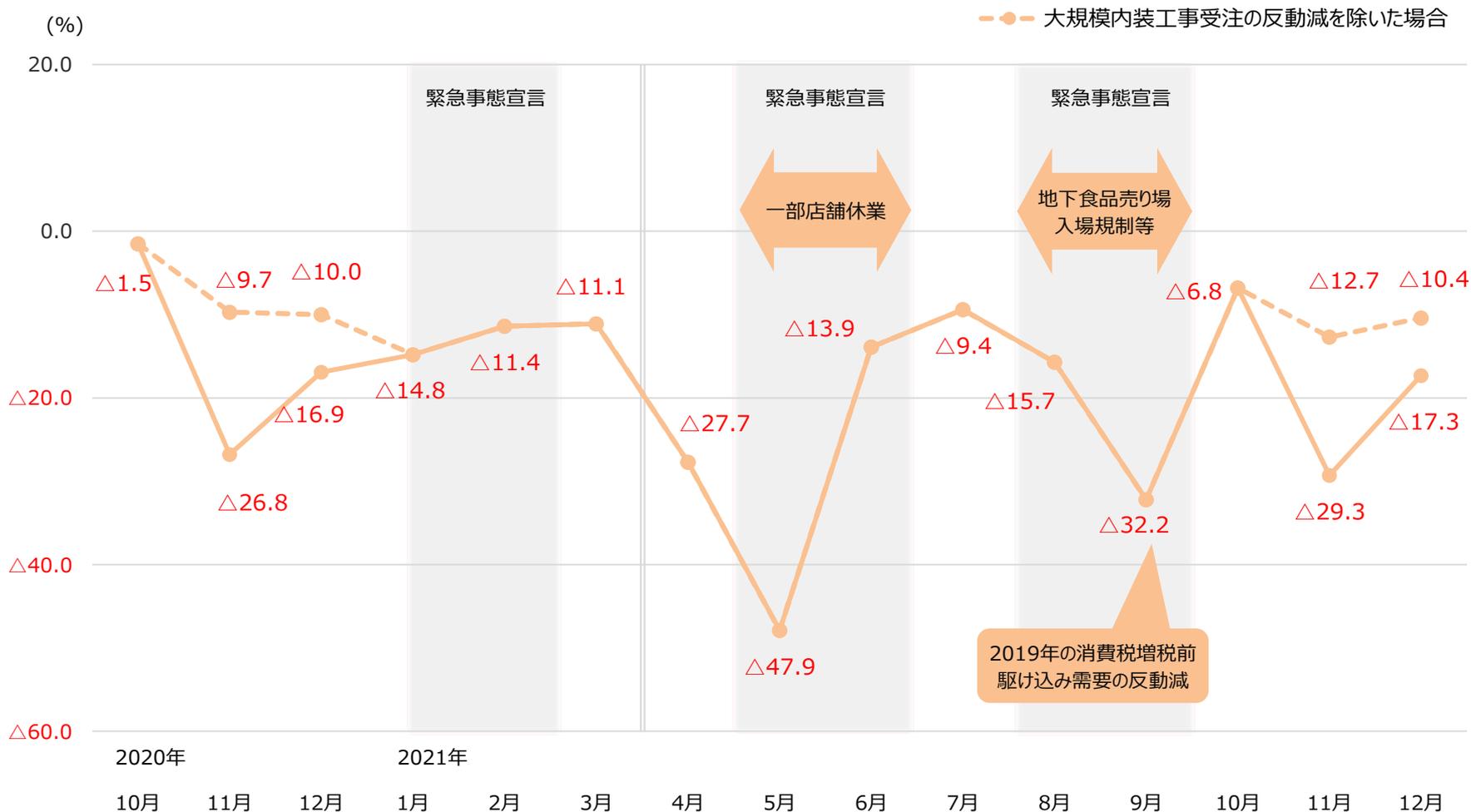
## （主な増減要因）

- 百貨店業は、収益認識会計基準適用による影響や新型コロナウイルスの影響による営業規模の縮小などにより、減収・減益。
- ストア業は、収益認識会計基準適用による影響などにより減収となったものの、経費削減の取り組みなどにより増益。
- ショッピングモールの経営は、マスターリース事業を行う高木ビルディングの寄与や前年同期の新型コロナウイルスの影響の反動などにより、増収・増益。

## 収益認識会計基準適用による影響（純額表示）（単位：百万円）

		影響（営業収益）
百	貨 店 業	△15,402
ス	ト ア 業	△5,671
シ ョ ッ ピ ン グ	モ ー ル の 経 営	△788

## 百貨店業（京阪百貨店） 営業収益 対2019年比



※収益認識会計基準適用前の営業収益による比較

# セグメント情報（レジャー・サービス業）

（単位：百万円）

	2022/3 3Q実績	2021/3 3Q実績	増減額	増減率
営業収益	8,494	7,483	1,011	13.5%
ホテル事業	6,837	5,840	996	17.1%
レジャー事業	1,673	1,661	12	0.7%
消去	△16	△18	2	－
営業利益	△6,753	△7,786	1,033	－
ホテル事業	△6,543	△7,462	918	－
レジャー事業	△223	△337	113	－
消去	13	12	0	－

## ホテル稼働率

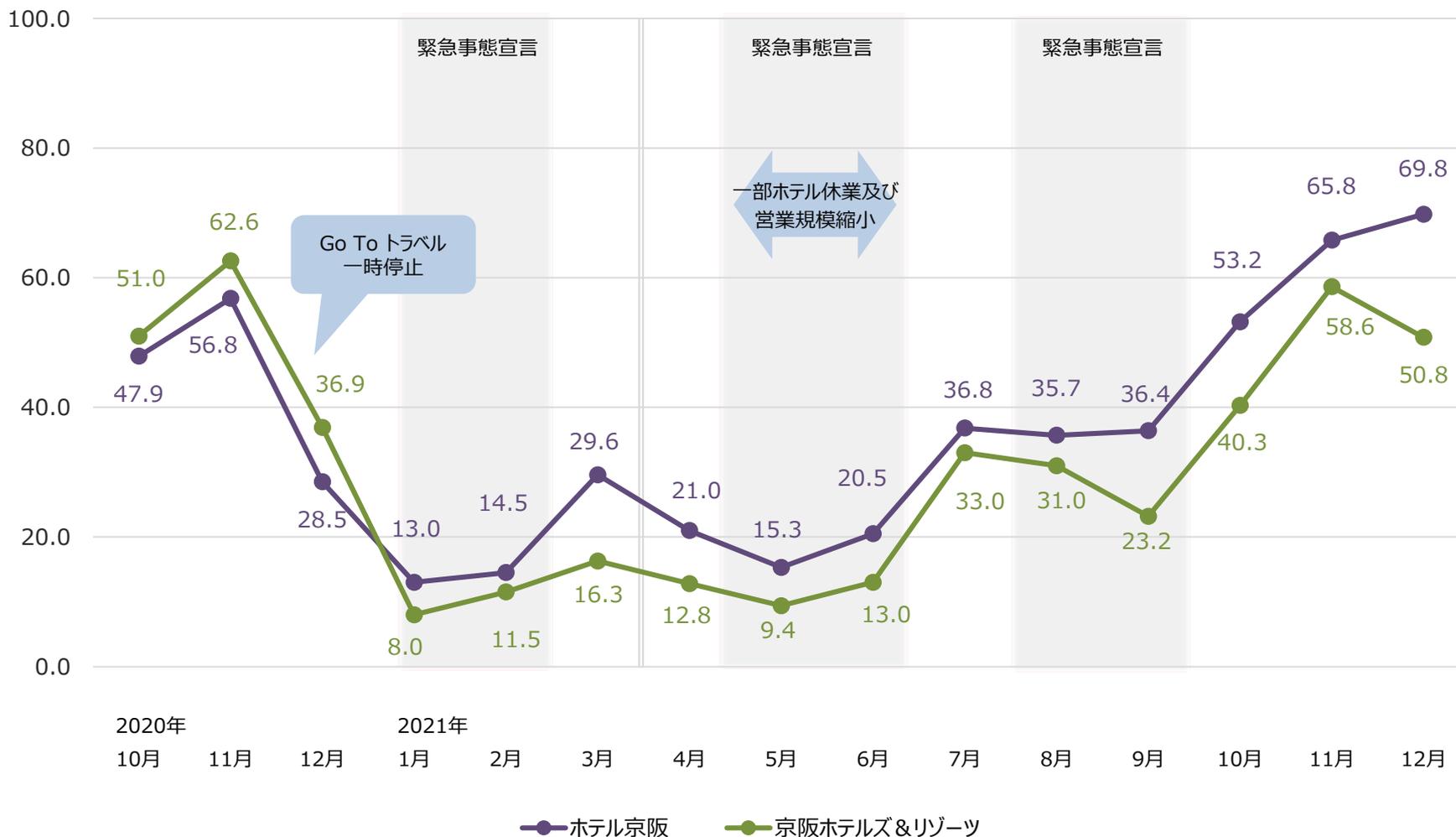
	2022/3 3Q実績	2021/3 3Q実績	増減
ホテル京阪	39.7%	26.4%	13.3pt
京阪ホテルズ & リゾーツ	30.3%	27.4%	2.9pt

### （主な増減要因）

- ・ ホテル事業は、前年同期の新型コロナウイルスの影響の反動や前年度に開業した「ホテル京阪仙台」「ホテル京阪京都駅南」の通期寄与などにより、増収・増益。
- ・ レジャー事業は、前年同期の新型コロナウイルスの影響の反動などにより、増収・増益。

## ホテル事業 客室稼働率

(%)



# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2022/3 3Q実績	2021/3 実績	増減額	増減要因
流動資産	204,492	197,185	7,306	現金及び預金+3,427
固定資産	558,753	567,062	△8,308	建物及び構築物△6,799
資産合計	763,246	764,247	△1,001	
流動負債	142,746	165,893	△23,147	未払金△10,338、 短期社債△5,000
固定負債	369,171	349,758	19,413	長期借入金+20,469
負債合計	511,917	515,652	△3,734	
純資産	251,328	248,595	2,732	利益剰余金+2,900 ※自己資本比率32.3% (+0.3pt)
負債純資産合計	763,246	764,247	△1,001	
有利子負債	366,869	351,600	15,268	借入金+20,269、短期社債△5,000

2022年3月期  
業績予想

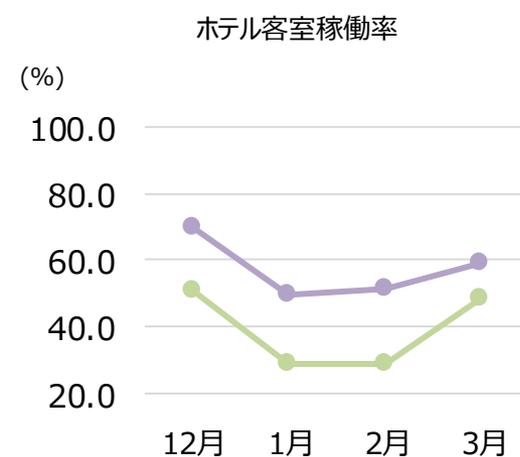
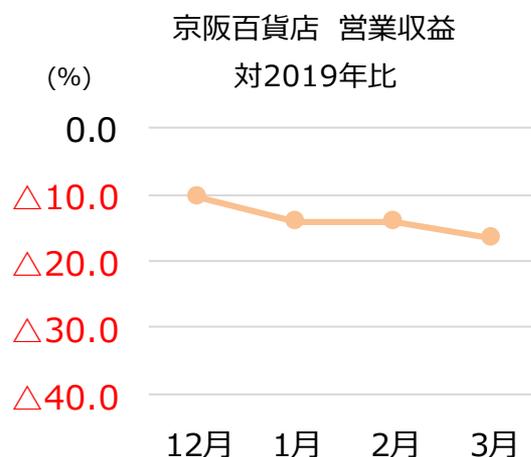
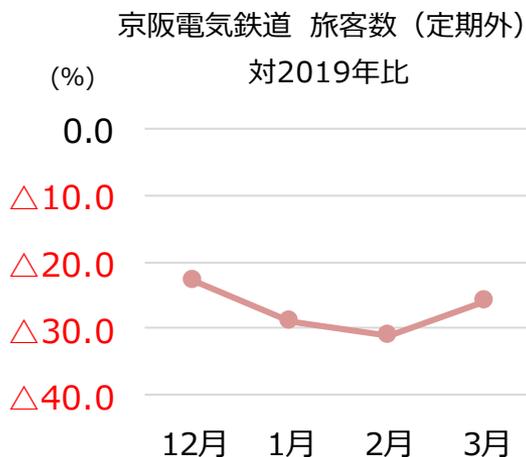
# 連結損益計算書（業績予想）

- 運輸業等における新型コロナウイルス感染症の影響の拡大により減収となるものの、不動産業の増収や各事業におけるコスト削減、さらに雇用調整助成金や新型コロナウイルス感染症対策補助金の増加もあり、親会社株主に帰属する当期純利益は、当初の予想を達成する見込み。

(単位：百万円)

	2022/3 今回発表予想	2022/3 5月発表予想	増減額	増減率	2021/3 通期実績	増減額	増減率
営業収益	256,900	263,000	△6,100	△2.3%	253,419	3,480	1.4%
営業利益	12,500	12,500	—	—	△1,265	13,765	—
経常利益	14,000	11,000	3,000	27.3%	238	13,761	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,300	5,300	—	—	△4,574	9,874	—

## 《今後の見通し（2022年1月～3月）》



● ホテル京阪  
● 京阪ホテルズ&リゾート

# セグメント情報（業績予想）

（主な増減要因 対5月発表予想）

- 運輸業、流通業、レジャー・サービス業：新型コロナウイルス感染症の影響
- 不動産業：マンション販売など、不動産販売業の好調

（単位：百万円）

		2022/3 今回発表予想	2022/3 5月発表予想	増減額	2021/3 通期実績	増減額
運 輸 業	営業収益	71,100	78,000	△6,900	65,694	5,405
	営業利益	△500	2,700	△3,200	△9,658	9,158
不 動 産 業	営業収益	135,800	124,300	11,500	110,270	25,529
	営業利益	21,700	16,000	5,700	18,590	3,109
流 通 業	営業収益	53,200	58,500	△5,300	83,109	△29,909
	営業利益	1,900	2,500	△600	1,192	707
レジャー・サービス業	営業収益	11,800	17,000	△5,200	9,724	2,075
	営業利益	△9,300	△7,200	△2,100	△10,823	1,523
その他の事業	営業収益	3,200	3,700	△500	3,061	138
	営業利益	△1,400	△1,200	△200	△1,401	1
全 社 ・ 消 去	営業収益	△18,200	△18,500	300	△18,441	241
	営業利益	100	△300	400	835	△735



**京阪ホールディングス株式会社**

**グループ管理室経理部**

**TEL 06-6944-2527**

**FAX 06-6944-2562**